



平成21年3月23日

各位

会社名 日立金属株式会社  
 代表者名 執行役社長 持田農夫男  
 (コード番号 5486 東証・大証第一部)  
 問合せ先 コミュニケーション室長 釜谷和嗣  
 (TEL. 03-5765-4079)  
 当社の親会社 株式会社日立製作所  
 代表者名 執行役社長 古川一夫

### 業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成21年2月2日に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想および配当予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正

##### (1) 平成21年3月期 通期 連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	単位	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	百万円	592,000	12,000	7,500	0
今回修正予想(B)	百万円	588,300	13,000	9,000	△3,000
増減額(B)－(A)	百万円	△3,700	+1,000	+1,500	△3,000
増減率	%	△0.6%	+8.3%	+20.0%	――
(ご参考)前期実績 平成20年3月期	百万円	701,075	59,698	54,448	27,034

##### (2) 平成21年3月期 通期 個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	単位	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	百万円	349,000	△6,700	△3,000	△7,200
今回修正予想(B)	百万円	344,100	△7,000	△3,600	△9,200
増減額(B)－(A)	百万円	△4,900	△300	△600	△2,000
増減率	%	△1.4%	――	――	――
(ご参考)前期実績 平成20年3月期	百万円	407,856	21,696	23,295	13,590

##### (3) 業績予想修正の理由

世界的な景気悪化による自動車やエレクトロニクス関連市場の低迷や、それに伴う設備投資抑制の拡大など、急速に事業環境が悪化する中で当社業績もその影響を受けており、厳しい状況が続いております。この状況の下、緊急施策としてコスト削減等を行うとともに、来期につながる施策として棚卸資産の圧縮や、事業の精選、研究開発体制の再構築などの事業構造改革を推し進めておりますが、それに伴う事業構造改革費用を特別損失に計上する見込みとなったことから、連結および個別業績予想を修正いたします。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成21年2月2日)	円 銭 7.00	円 銭 7.00	円 銭 14.00
今回修正予想	7.00	6.00	13.00
当期実績	7.00	—	—
前期(平成20年3月期)	6.00	6.00	12.00

### (2) 配当修正の理由

当社は、企業価値の増大を通じて株主の皆様へ長期的かつ適正な利益還元を行うことが会社の責務であるという認識のもと、中長期で成長することを主眼に内部留保の蓄積と利益配分を総合的に判断していくことを基本方針としておりますが、経営環境の状況は厳しく、当期期末配当につきましては、1株につき前回予想の7円から6円に修正させていただきます。

当社を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いておりますが、全社一丸となって資産の圧縮やコスト削減等の体質強化策を実行するとともに、今後の成長につながる新製品の開発・市場投入を加速させ、早期の業績回復に向け引き続き注力してまいります。

以上

(注記) 前述の業績見通し等に記載されている各数値は、実績数値を除き当社の経営者が現時点で判断する一定の前提および仮定に基づき算定しております。内在する仮定及び状況の変化等により、実際の業績等が見通しの数値と異なることが有り得ますことをご承知おさください。